

# 乙姫城

## 土岐会、妻木町へ

土岐会（会長土岐實光氏）は、五月二八・二九両日にわたって、土岐の史跡を訪ねる旅（第七回）を催されました。二八日に岐阜城・岐阜市歴史博物館・長良川鵜飼を見学され、翌日多治見市の虎溪山永保寺に続いて、妻木町八幡神社・崇禅寺・妻木城御殿跡を巡り、土岐市泉町の国史跡元屋敷窯跡のある織部の里公園を見学して土岐市駅より帰路につかれました。



妻木城址の会

〒509-5301

土岐市妻木町3051-1

八幡神社社務所内

TEL0572-57-6441

昼食会には塚本土岐市長さん・吉田妻木町自治会長さんにも列席いただき、城址の会役員も加わって土岐一族の話で盛り上がりました。

## 御殿跡の看板改修作業 羊申会の奉仕作業

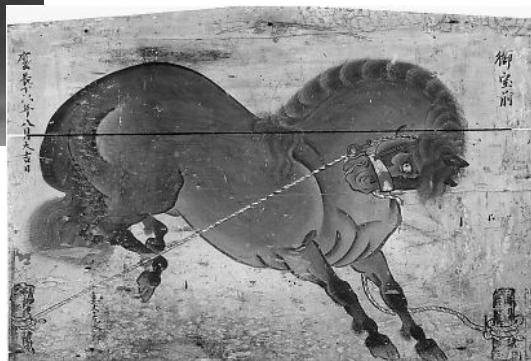
平成七年に厄年事業の一環として寄贈された妻木城御殿跡前の看板が、八年ぶりに改修されました。六月一日に看板を設置した羊申会のメンバーが集まり、奉仕作業としてこの事業に取り組みました。





『不滅の茶碗 美濃国妻木 美濃に咲いた桃山文化』を出版

妻木城址の会  
では、写真家長瀬道隆氏の撮影による写真集『不滅の茶碗 美濃国妻木 美濃に咲いた桃山文化』をみずほ出版より出版しました。オール



カラーの写真七二頁と城址の会編集委員による解説十頁の構成です。

# 妻木町の文化的遺産撮影

## 家頼甲冑や出土陶片

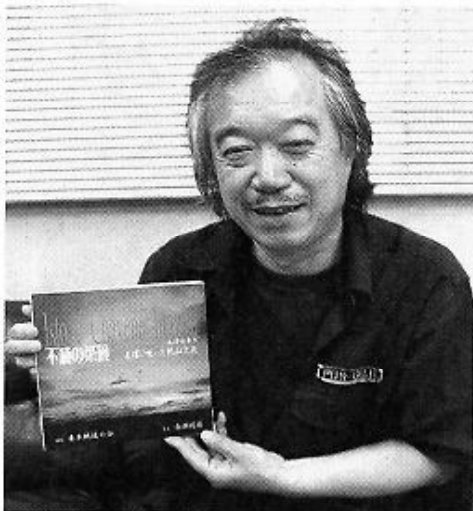
土岐のフリーカメラマン長瀬さん

### 写真集『不滅の茶碗』出版

土岐市妻木町の文化的遺産を撮影した写真集『不滅の茶碗(わん)』を同市下石町のフリーカメラマン、長瀬道隆さん(左)が出版した。(西山 和宏)

「巨大エネルギー動いた桃山文化」に中心

室町時代―江戸時代初期の 聖観音座像頭部のほか、関ヶ原の合戦の際に妻木家頼が着た桃山文化。崇禎 寺開山堂の果山、清盛の像、徳川家康の書状、キリシタン



出版した『不滅の茶碗』を手に、妻木への思いを話す長瀬さん(中日新聞多治見支局で)

灯籠(とうろう)など、地域に残る文化財をクリアな写真で紹介している。また、妻木城址(じょうし)から発掘された陶片を中心に天目茶碗、織部茶入、志野織部向付など、陶磁器の美も追求した。長瀬さんの写真集としては、岩村城を扱った「霧ヶ城の時代」、愛知県東栄町の邦楽グループを追った「志多ら」に続く三冊目。ポルトガル語で茶碗を意味する「シエベナ」は、日本語の発音がなまるとされており、表紙に記載。長年、温めてきた構想で、長瀬さんは「巨大なエネルギーが動いた桃山文化に関心があり、それが外国に伝わった点にロマンを感じる」と話している。

写真集はみずほ出版から発売、一部三千円。妻木城址の会監修。問い合わせは同会(電0572(57)6441)。

### 『不滅の茶碗』販売のお知らせ

『不滅の茶碗』は3000円にて販売しています。

会員の方は同封の会員割引券にて500円引となります。

販売所は妻木城址の会事務局(八幡神社社務所)及び妻木公民館です。

郵送希望の方はご連絡下さい。振替用紙を同封して郵送します、到着後に振込をお願いします。郵送料は1冊310円が目安です。

新聞記事は、中日新聞2003/6/17朝刊より

# 『妻木城 妻木城跡・土屋敷跡発掘調査 報告書』

が土岐市埋蔵文化財センターから発行されています。内容は平成九年から十三年に実施された発掘調査の報告書です。一部三千円にて取り次ぎ致しますので、ご入用の方は妻木城址の会事務局までご連絡下さい。



ています。内容は平成九年から十三年に実施された発掘調査の報告書です。一部三千円にて取り次ぎ致しますので、ご入用の方は妻木城址の会事務局までご連絡下さい。

## 平成十五年度の主な行事予定

一、火縄銃の実演及びよろい行列は、十月十二日の流鏝馬にあわせて行われます。

二、文化財展は、妻木公民館が来春竣工しますので、それに合わせて開館記念特別展として実施されます。期日は三月末の予定です。展示は妻木城に関するものです。

三、長瀬道隆撮影「不滅の茶碗」に続いて、小冊子『妻木城案内マップ』（仮称）を公民館開館にあわせて出版する予定です。



皆様の投稿をお待ちしています。また、ご意見や問い合わせなどありましたらお気軽にどうぞ。インターネットでも結構です。アドレスはmasanao47@mail.goo.ne.jp 黒田宛てに送信して下さい。ウイルス対策のため不振なメールは開けませんので、件名は明確にお書き下さい。